

<支援団体アンケート結果>  
 子どもの居場所づくり活動を行う支援団体の皆様にアンケートにご協力をいただきましたので、内容をご紹介します。  
 お忙しい中ご協力いただき、誠にありがとうございました。

団体名	所在地	主な活動内容	HP、SNS等のURL	R7年度の活動実績	R8年度の活動計画	行政や他団体と連携してやってみたいこと
1 認定NPO法人日本災害 救援ボランティアネット ワーク(NVNAD)、にしの みや遊び場つくろう会	兵庫県西宮市	子どもの遊び場、親 支援、その他(阪神 淡路大震災後、被災 地で被災者自身が 立ち上げた団体であ ることから、その体 験を活かして相談に 乗ったり、アドバイス ができる(特に子ど も支援に関するこ となど))	<a href="http://nvna.d.or.jp/(NVNAD)@nishinomiya.jp(Xにのみや遊び場つくろう会">http://nvna.d.or.jp/(NVNAD)@nishinomiya.jp(Xにのみや遊び場つくろう会</a>	昨年度は夏休みの出前プレパークをしましたが、3月1日実施の被災地オンライン交流会を追加します。これは子どもたちの相互交流をしていた東日本大震災の被災地(岩手県野田村)と、コロナ禍以降続けている事業で、一昨年の能登半島地震以降、七尾市の中学生や地域が参加しています。(詳細は別添チラシ、企画書参照)	発災当初の2024年3月から始めた、兵庫県西宮市の子ども達と行く出前プレパークですが、これまで七尾市と輪島市の保育園や小学校で実施してきました。2026年度は初めて珠洲市に向かいます。そのきっかけは、昨年10月のこの会議で珠洲市で活動する方と出会ったことです。その時にお話を伺い、その後リモートで当団体メンバーとも対話し、先週は珠洲市に行って直接お目にかかってきました。そこで開催場所や私たちの宿泊先なども紹介いただき、4月初旬の春休み中に開催予定です。今後詳しいことを打合せながら進め、珠洲の方々にとって楽しいものになればと思っています。その費用などの一部は、兵庫県の助成金を使う予定です。来年度の夏休みも実施したいところですが、費用面のことなど課題もあり、被災地のみなさんのご意見も聞かせていただきながら進めたいと思っています。	東日本大震災では、被災地の岩手県野田村の支援を続け、子ども達とは震災の翌年度から相互交流をし、その保護者達や村の方々とは今も交流を続けています。そして15年目となる今年の3.11には村の追悼行事に招聘されています。ただ、この震災では相互交流の原資としての募金や兵庫県の助成金などがあり、続けることが出来たと思いません。相互交流だけが絶対とは言いませんが、それぞれホームステイや行事参加などを通して繋がりが出来、当時の野田村の子ども達は、成人した今も心に残っていると聞きます。また、阪神淡路大震災の時に、能登のみなさんに癒された経験は、当時の西宮の子ども達が親になった今、支援に繋がっています(その子ども達が出前プレパークに参加)。今回の会議でも、実際に必要な支援をお聞きするとともに、資金面のことや、支援の手立てなどを聞くことができると有難いと思います。
2 一般社団法人ベンギンクルー	石川県輪島市を中心とした能登地方(活動地域)	その他(子ども・若者、子育てを応援するNPOや市民団体等への伴走的支援)		▼子ども支援に関わるNPO法人等への伴走的支援 会計・労務などバックオフィス体制構築、ファンドレイジング・ビジョン・ミッション・中長期計画、MTG等へのスーパービジョンなど ▼コミュニティ財団等の中間支援組織・機能へのアドバイザー業務 助成金プログラム設計、プログラムオフィサーへのスーパービジョンなど ▼現地で活動するNPO・市民団体等の相談支援 ▼その他 ※代表個人としての役割 こども家庭庁「災害時の子どもの居場所づくり」調査研究委員 不登校・生活困難等の個別ケースへの相談支援・対応	※R7年度と同様の活動を、これまでの繋がりを通じて、ゆるやかに実施出来ればと思います。	
3 NPO法人ROJE	金沢市	子どもの遊び場、学 習支援	<a href="https://kyo.uikusaikou.jp/">https://kyo.uikusaikou.jp/</a>	【七尾市】 ・未就学～中学生を対象とした居場所支援・学習支援活動・体験活動を毎週土曜日に実施。延べ参加者数は440名 ・七尾高校生を対象とした探求支援活動、進路や学習相談会を6月、8月、10月に数日間実施。延べ参加者数は230名 【金沢市】 ・広域避難を余儀なくされている小学生～高校生を主な対象として、学習支援活動・居場所支援活動・体験活動を週4回実施。延べ参加者数は600名	来年度も引き続き同様の活動予定です。また、輪島市内での活動を計画中です。	大学生スタッフが多く在籍しているため、学習支援活動や進路相談といった関わりをもしてきたらと考えております。
4 team Progress	能登町	その他(心のケア、居 場所づくりほか)		別添活動報告書参照	別添活動計画書参照	音のチャラ(Live)、音と映像のチャラ(上映会)を連携出来れば幸いです

団体名	所在地	主な活動内容	HP、SNS等のURL	R7年度の活動実績	R8年度の活動計画	行政や他団体と連携してやってみたいこと
5 公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン	東京都千代田区	子どもの遊び場、親支援、その他(緊急支援に限らなければ、日本国内で子どもの貧困問題や地域で活動するNPOの支援を行っています)	<a href="https://www.savechildren.or.jp/">https://www.savechildren.or.jp/</a>	<a href="https://www.savechildren.or.jp/news/publications/download/notohantojishin-2025.pdf">https://www.savechildren.or.jp/news/publications/download/notohantojishin-2025.pdf</a> ↑上記リンクに2025年の能登半島地震・豪雨緊急復興支援の活動内容をまとめてあります。	・2025年に実施した「能登子ども給付金」受給世帯からのアンケート調査結果の報告および周知啓発 ・スポーツ少年団や子どもが関わる文化・伝統芸能活動への助成サポートの継続 ・子どもたちの意見表明の機会創出 ・放課後児童クラブ(学童保育)に係る防災力向上支援	能登半島地震・奥能登豪雨発災後から緊急・復旧・復興期の各フェーズにおいて、子ども支援に関わる各機関・行政・支援団体の連携事例の収集。また、次の災害に備えた連携体制の維持・拡大
6 特定非営利活動法人 Chance For All	東京都足立区	子どもの遊び場	<a href="https://chance-for-all.org">https://chance-for-all.org</a>	以下の資料の通りです。 <a href="https://docs.google.com/presentation/d/1gi1BJWXLyedsCqQuc3FoqyX6CNaw0VEDecrFuaRDGQ/edit?usp=sharing">https://docs.google.com/presentation/d/1gi1BJWXLyedsCqQuc3FoqyX6CNaw0VEDecrFuaRDGQ/edit?usp=sharing</a>	①輪島市三井町での「森のあそび場」活動 輪島市三井町の保護者の方が中心となって、子どもたちに能登らしい豊かな森や里山に触れてあそび活動を、サポートする。月に1回程度の実施を見込んでいる。 ②輪島市三井町での、子どもたちの滞在拠点づくり活動 地域の古民家を再生し、能登の子どもたちが自由にあそんだり、放課後の時間を過ごしたりできる拠点を新たに作る。能登の外からも子どもたちを呼び込み、能登の豊かな森や里山に触れてあそびや学びを体験できる滞在施設にしていきたいと考えており、そのための準備を進めていく予定。	
7 一般社団法人プレーワーカーズ	宮城県名取市	子どもの遊び場、子ども食堂	<a href="http://playworkers.org/">http://playworkers.org/</a>	1、遊び場運営事業 ・「子どもの居場所〇〇」の開放。子ども食堂も実施 ・「なとりむくむくプレーパーク」「十三塚公園プレーパーク」「加瀬沼プレーパーク」を実施。 2、☑️プレーパーク推進事業 ・仙台市「遊び場展開事業」の実施。 3、調査・普及・啓発事業 ・報告書作成やホームページ運営、SNS発信などによって定期的に情報発信。 ・プレーパーク勉強会を開催。(2/23) 4、講演・研修事業 ・講演・研修への講師派遣を実施。 ・プレーワーカー養成講座を開催。 ・仙台市「プレーリーダー育成推進事業」の実施。 5、☑️イベント事業 ・全国各地のイベントへ出張し、子どもの遊び場を開催。 ・10周年記念報告会を東京、東北2カ所で開催。 6、被災地支援事業 ・能登半島地震被災地(輪島市、能登町、珠洲市)にて外遊びの機会を地域の協力者と共に作った。	1、遊び場運営事業 ・「子どもの居場所〇〇」の開放。子ども食堂も実施 ・「なとりむくむくプレーパーク」「加瀬沼プレーパーク」を実施。 2、☑️プレーパーク推進事業 ・仙台市「遊び場展開事業」の実施。 3、調査・普及・啓発事業 ・報告書作成やホームページ運営、SNS発信などによって定期的に情報発信。 4、講演・研修事業 ・講演・研修への講師派遣を実施。 ・プレーワーカー養成講座を開催。 ・仙台市「プレーリーダー育成推進事業」の実施。 5、☑️イベント事業 ・全国各地のイベントへ出張し、子どもの遊び場を開催。 6、被災地支援事業 ・能登半島地震被災地(輪島市、能登町、珠洲市)にてプレーパークの立ち上げの協力をする。	能登半島にプレーパークが根付くように、支援団体、現地団体、市民、行政の連携を強めたい。 まずは、具体的に計画を進める際の課題がどこにあるのかを確認したい。
8 特定非営利活動法人全国子ども食堂支援センター・むすびえ	東京都新宿区	子ども食堂	<a href="https://musicupproject/bousai">https://musicupproject/bousai</a>	・能登での出張子ども食堂開催 ・石川県下の子ども食堂MAPの制作 ・ほうさいこくたい出展 ・JVOADフォーラム出展 ・休眠預金事業による東海地方での食の支援ネットワーク構築事業の推進 ・各地での防災研修の実施	・能登での出張子ども食堂開催 ・石川県下の子ども食堂MAPの制作 ・石川県下の子ども食堂の交流会の開催 ・ほうさいこくたい出展 ・JVOADフォーラム出展 ・休眠預金事業による東海地方での食の支援ネットワーク構築事業の推進 ・各地での防災研修の実施	
9 NPO法人かもママ	加賀市	子どもの遊び場、子ども食堂、親支援、その他(ファミリーサポートセンター・産前産後家庭支援ヘルパー派遣・妊婦期パパママ教室・育児用品レンタル・リサイクルバザール常設フードパントリー・全天候型大型児童遊戯施設指定管理者)	<a href="https://kamomama.com">https://kamomama.com</a> <a href="https://www.instagram.com/kamomama.kaga?igsh=MZY2MTkxNDdsNTZj&amp;utm_source=qr">https://www.instagram.com/kamomama.kaga?igsh=MZY2MTkxNDdsNTZj&amp;utm_source=qr</a>	被災地での支援活動はInstagramに投稿しています。 7年度の活動は3月末日までですので、実績はまだまとまっていません	令和8年度は4月1日スタートですので、今活新年度の活動計画を立てていくところ です。	

団体名	所在地	主な活動内容	HP、SNS等のURL	R7年度の活動実績	R8年度の活動計画	行政や他団体と連携してやってみたいこと
10 特定非営利活動法人じっくらあと	輪島市	その他(子ども・若者の居場所づくり)	https://jikkurato.com/	わじまティーンラボ(10代の居場所作り)の運営 出張ラボで月1回学校に伺い交流サロンを運営 (6合同小学校、輪島中学校、輪島高校、東陽小中学校)	変更なし	
11 ヤングケアラープロジェクトいしかわ	金沢市	その他(ヤングケアラーに関連する支援活動(居場所カフェ、食支援など))	https://youngcarerprojectishikawa.hp.peraichi.com/ https://www.instagram.com/ishi_youngcarer/	ヤングケアラー・若者ケアラーカフェ in いしかわ(R7年度金沢市ヤングケアラー支援事業受託事業):毎月1回程度の対面またはオンライン茶話会 ヤングケアラーに関する個別相談会:毎月1回予約制の対面またはオンラインの相談会、当事者だけではなくあらゆる方を対象 食の支援お届けします!ヤングケアラー食支援事業(R7年度石川県ヤングケアラー支援事業受託事業) その他、研修や講演活動など	月1回程度の当事者・元当事者を対象とする居場所づくり 月1回程度の当事者およびあらゆる方を対象とした個別相談会 日程等は決まり次第、SNSおよびホームページ等で発信予定です	子どもの居場所支援をしている支援者の皆さんに、ヤングケアラーのことを知って頂く活動 子どもの居場所支援活動とのコラボレーション
12 一般社団法人カウンセラーカレッジ石川	金沢市	その他(SNS相談事業、メンタルヘルスケアに関連する活動)	https://www.ccishikawa.org/ https://www.instagram.com/cci_counselorcollegeishikawa/ https://www.facebook.com/ccishikawa	こども家庭庁・石川県 親子のための相談LINE	未定(令和8年度の活動内容が決まり次第、弊社団体のホームページやSNS等で情報発信いたします)	被災地におけるメンタルヘルスケア提供に関連した活動として、 1)個別制手もみ付傾聴カウンセリングのミニセッション(マンツーマン、カウンセラーがお話しをお聞きしながらリラクゼーションを実施・ご提供)を運営できます 2)被災地におけるメンタルヘルスケアに関する研修やワークショップなどを運営できます  いずれも対象は、被災された方・大人子ども含め年齢不問、また被災地の支援に入っている支援者の方 となります 物的支援に加え、心理面での支えもどんなことがいっしょにできるか考えていきたいと思えます
13 一般社団法人ともえグループ居ばしよ食堂	七尾市	子どもの遊び場、子ども食堂、学習支援、不登校支援、親支援		利用者数(令和7年4月~11月)延べ627人 子ども食堂利用者(令和7年4月~11月)延べ515人  イベント 月1 ボドゲ会 居ばしよ縁日 子ども食堂(鶴浦町、江泊町) 餃子作り体験会 メイク講座	未定	

参加費無料  
申込不要

# 被災地

# オンライン交流会

令和8年3月1日(日) 13:10~15:00 (開場13:00)

西宮会場 : 西宮市民会館4階 401会議室  
(兵庫県西宮市六湛寺町10-11)

野田村会場 : 岩手県 野田村生涯学習センター多目的ホール

七尾市会場 : 石川県 中島地区コミュニティセンター豊川分館

岩手県野田村は東日本大震災発災直後から支援し、  
2012年度からは子どもたちとの相互交流をしてきましたが  
コロナ禍からはオンラインで交流。

一昨年からは能登半島地震の被災地も含めた交流となりました。

今回も中学生たちの取り組みや各地域の様子を聞き、  
東日本大震災から15年目となる今年、改めて被災地同士の繋がりを確かめ、  
今後の災害時の取り組みやその継承を考えたいと思います。

①各中学校等の報告 ②各会場との意見交換

岩手県野田村立野田中学校・野田村役場 (復興の経緯など)  
石川県七尾市立中島中学校・中島小学校・豊川地区  
西宮市立浜脇中学校・西宮市立山口中学校

③「花は咲く」合唱

西宮少年合唱団 有志と一緒に  
「花は咲く」をみなさんで  
合唱しましょう

主催 認定NPO法人 日本災害救援ボランティアネットワーク (NVNAD)  
後援 岩手県九戸郡野田村、野田村教育委員会、石川県七尾市、西宮市、西宮市教育委員会  
協力 各地中学校、豊川地域協議会  
西宮市浜脇地区青少年愛護協議会、西宮少年合唱団有志、にしのみや遊び場つくろう会

▼ 問い合わせ先 NVNAD理事 米山 清美 (090-1144-3867)

## 2025年度「被災地オンライン交流会」企画書

- 日時 2026年3月1日(日) 13:10~15:00 (開場 13:00)
- 場所 西宮会場：西宮市民会館 4階 401会議室 (西宮市六湛寺町 10-11)  
野田村会場：野田村生涯学習センター1階多目的ホール  
七尾市会場：中島コミュニティセンター豊川分館
- 主催 認定NPO法人日本災害救援ボランティアネットワーク (NVNAD)
- 後援 西宮市、岩手県野田村、石川県七尾市 (全て予定)
- 協力 各地中学校、七尾市中島地区コミュニティセンター豊川分館、にしのみや遊び場つくろう会、西宮市浜脇地区青少年愛護協議会、西宮少年合唱団有志
- 参加費 無料

参加対象 小中学生、保護者、一般市民、村民

- 内容
- ・参加者および参加地域紹介
  - ・各中学校紹介 (東日本大震災15年となる野田村の報告含む)  
岩手県野田村立野田中学校、  
兵庫県西宮市立浜脇中学校、同山口中学校  
石川県七尾市立中島中学校、同中島小学校
  - ・各会場との意見交換
  - ・「花は咲く」を参加者全員で歌う (西宮少年合唱団有志と一緒に)

### 経緯と趣旨

2011.3.11の発災後支援を続けてきた岩手県野田村だが、子ども達とは2012年度より相互交流をしてきた。コロナ禍でリアルな交流は途切れたが、その後はオンラインで交流。一昨年からは能登半島地震の被災地も含めた交流となった。

今回も中学生たちの取り組みや各地域の様子を聞き、東日本大震災から15年目となる今年、改めて被災地同士の繋がりを確かめ、今後の災害時の取り組みやその継承にも寄与したいとの思いで実施する。

問合せ NVNAD 理事 米山清美  
(090-1144-3867, yoneyama0725@samba.ocn.ne.jp)

# team Progress2025 年支援活動一覽

	事業名	目的	活動地域	期間	活動内容			連携先と連携内容	成果
					どのような活動	対象	数値		
1	遺足/イベント送迎	地域コミュニティ再構築 仮設団地の見守り 地域資源の活用	能登町 輪島・珠洲市	春と秋	マイバスを用いて【イベントへの送迎】復興祭・復興マルシェ風の音楽祭・LoveForNippon【春・秋の遺足】毒狩り・人形劇フェス宇出津有志の会	仮設団地入居者 交通手段無い方 子連れ・高齢世代	延べ19日 計188名送迎	地域の小学校・公民館・他団体、実行委員会、地域住民	前年比べ間口拡大 イベント送迎では輪島・珠洲市にも展開 対象も幅広い年齢層
2	祭り送迎	関係人口の創出 地域資源の活用 担ぎ手後方支援	能登町 輪島市	7月・10月	マイバスを用いて【あばれ祭】後押し・祭の観客送迎・担ぎ手送り迎え【豊年祭】後方支援6年振り粟倉の秋祭地区コミュニティ再構築	県外からの担ぎ手 もとやスパー 関係者 町野第二団地住民	計4日 81名送迎	もとやスパー MuTube	あばれ祭では前年倍の77名、町野で元世話役送迎、6年振り初巡行の後方支援
3	子ども達の受入	傷ついた子ども達・地域の笑顔取り戻す 次の世代の人材育成	能登町 輪島市	各2泊3日×2回	【能登キャンプ】東京より子ども達が能登の子達と遊びを通じてつながる催し【のと輪っか】生徒企画の能登ツアーを見て気付く催し(マイバスで今の能登の案内も実施)	地元の子も達 東京・九州の生徒 能登・町野町の方々	キャンプ；準備含36日 輪っか；準備含17日 53名迎入れ	キャンプ・緑の少年団 能登町教育委員会 学生会、町野他	現場エージェントとして各方面との調整を担う 白紙からの開拓で2つ事業開催
4	外部の力誘致	起業家誘致 地域資源の活用 関係人口の創出	能登町 輪島・珠洲市	春と秋	マイバスを用いて“今の能登を見ていただき”併せて奥能登の資源や人材をつなぐ伴走支援を仕掛ける方々の能登視察を一日ご案内 関係人口を創出	スパイファクトリー	奥能登フェスト2日 9名迎入れ	SCARAMANGA	起業等伴走支援の方々に今の能登を見て回る案内を実施
5	SUPに能登〜	傷ついた子ども達・地域の笑顔取り戻す 次の世代の人材育成	能登町	9・10月(7日)	SUP(Stand Up Paddle)を用いて身近で奥能登の素晴らしい環境の再認識、慌ただしい日常から離れ心身共に笑顔を取り戻す事を目標に里海で楽しむ	飯田・能登高校 鶴川小学校 鶴川小学校 劇団絆創港 地元業者	地元業者1日 鶴川小学校1日 子ども達2日 47名	K3 能登町教育委員会・小学校 劇団絆創港	笑顔を取り戻す事を目標とした事を実践次につながる活動、人材育成にも着手
6	音のチカラ	関係人口の創出 地域コミュニティ再構築 地域の方の心のケア	能登町	春(1日)と秋(3日)	柳田地区納涼祭(盆踊り)のステージから地区の男性方を虜にし そのご縁から柳田小学校の児童と“のとおもう唄”を創り、全児童78名と披露いただく (アーティストの奥能登誘致)	納涼祭参加・関係者 柳田小学校 関係者	準備含め チラシ4日 一ノ瀬菜子13日 集客480名 相当	柳田公民館 能登町教育委員会 柳田小学校	アーティストに來てもらい音のチカラを借り、子ども達の言葉を用いた“のとおもう唄”が生まれる
7	シンボル創り	地域課題の克服 雇用の創出 次世代の人材育成	能登町	10〜12月	・地元食材・人材用い食を通じたコミュニティの場を創造 ・8月浸水した宇出津で明かりを灯す等目指し塩おにぎりの試作繰り返し来期の準備を実施	通勤途中の従事者	延べ42日 塩むすび660個	能登町役場 宇出津病院 小木地区24名 区長会	飲食店が希薄な地区で出店準備 相応数の試作も展開を実践
8	地域連携	自助・共助体制 地域コミュニティ再構築 地域資源の再生	能登町	9〜12月	・8月豪雨支援(藤波) ・イベント応援(草刈) ・祭り準備(草刈) ・緊急道路清掃 ・小木駅花壇再生 ・つくもル景観手直し ・除雪活動	藤波・宇出津・町野・小木ほか	豪雨3日 小木18日 草刈り4日他	能登町ラフテフセンター もとやスパー 石岡石油 坊の駅つくもル	豪雨支援も対応、新たに小木地区で地域資源の再生にも取り組む

team Progress 活動計画書

	事業名	活動の目的	活動内容						目指す成果	地域力向上
			どのような活動	役割	地域	対象者	連携先	内容		
1	遠足/催し/祭の送迎	コミュニティ再構築 地域資源の活用 関係人口創出	マイロボスを用いて 【イベント送迎】復興祭・音楽祭 【遠足】 苺狩り・人形劇 地区有志の会 【祭り】 観客・担ぎ手送迎	主役は地元 契機創る脇役 (送迎)に徹する	奥能登 2市2町	奥能登被災者 子連れ・高齢者 県外参加者	地元機関・ 実行委員会、地域住民、祭礼委員会	20日 /250名 送迎	笑顔を取り戻す事を目標にコミュニティが築かれ参加者や地域の好循環につながる事を目指す	新村新友会へのバス運行委託
2	子ども達の受入	子ども・地域の笑顔を取り戻す 人材育成	子ども達が遊びを通じて能登をみて、つなぐつながる催し 【のと輪っか】 高校生の為の能登ツアー 今の能登を見るストーリーを作る	共に2度目、主催側の主体性を招く動き (送迎に徹する)	能登町 輪島/珠洲市	ジュニアキャンプ 関東・九州の生徒 地元の学生達	緑の少年団 他 地元機関・ 団体、事業者他	50名	活動を発信、豊かな里山里海が世界に知れ渡り能登を忘れないで欲しい事にもつなげる	企画概要や前回レポートを展開 記録映像も使いモチベーション向上を図る
3	外部の力誘致	観光客等誘致 地域資源活用 関係人口拡大	マイロボスを用いて 復興支援が이드ツアーの能登・輪島ルートを地元事業者より請負い 伴走支援の仕掛け人や視察団の方々の能登視察を案内	主役は地元 契機創る脇役 (送迎)に徹する	能登町 輪島/珠洲市	観光客 自然災害が懸念される地域の方々	Reboot珠洲 ほか 地元事業者 興能信用金庫ほか	5回	経験談に触れながら現地を体験した人たちは何かを胸に刻んで持ち帰る事	外から人を呼び込んで見せものにしていないうい気遣い 語り部の発掘
4	仮称>夏休み企画	コミュニティ再構築 生徒の企画運営 次なる人材育成	マイロボスを用いて 高校生が企画する催しをリスクハッジ含めて実施出来る迄サポートする 例> 海水浴へ行こう 磯遊び&シュノーケリング Sup・波に能っ登～	主役は地元高校生 契機創る脇役 (送迎)に徹する	奥能登 2市2町	奥能登の高校生たち	石川県 奥能登の高等学校	2日	生徒にとって夏の思い出の創造、現実の課題である移動手段の不足を克服	スクールバスや地元業者との連携や運行委託等仕組化への地域住民・団体との連携
5	SUPに能っ登～	子ども達、地域の笑顔を取り戻す 次なる人材育成	SUP(Stand Up Paddle)を用いて ・海洋体験学習 ・身近で奥能登の素晴らしい環境の再認識と慌ただしい日常から離れ心身共に笑顔取り戻す	小学校、地域の住民向け共に主催者	能登町、珠洲市	能登町 各小学校 地域団体	能登町 教育委員会・小学校 地域団体	2校/40名	笑顔を取り戻し身近な里海の素晴らしさを再認識と自信も備えていただく	各小学校と年間スケジュール化や地元業者との連携スタート 仕組化への地域住民・団体との連携
6	音のチカラ	関係人口創出 コミュニティ再構築 地域住民心のケア	"のどのうた"を創っていただき音のチカラを用いて能登町柳田地区で元気と笑顔を与えたバンド"ブラスボ"とアーティストのノノ瀬菜子さんの奥能登でのlive出演 【音のチカラの横展開】	今後奥能登で開催されるイベント等 各関係者へのプロモーション活動	奥能登 2市2町	子ども達 イベント参加者	各学校 催し主催者 奥能登芸術祭	春と秋	うたを聞いた奥能登の住民が元気で勇気を与えていたでいて良い顔で帰宅の途につく状態	これ迄の音源用い一人でも多く足を運んでもらう告知次呼んでもらう等次の契機の誘導
7	無料上映会	子ども達、地域の笑顔を取り戻す 地域住民の心のケア	映画「猫と私と、もう一人の私」 無料上映会を開催 震災に豪雨と泣いている暇が無かった地域住民に思いっきり泣いてもらい家族愛にも触れてもらう	主催者 (思いっきり泣いてもらう仕掛け人)	能登町・珠洲市	能登町・珠洲市の 団地・公民館 ほか	能登町教育委員会他 県立飯田高等学校 奥能登芸術祭	6回	会場まで足を運ぶ事含め映像と音のチカラを借りて元気で笑顔を取り戻す事目指す	実行委員会はじめ地域住民の関わり誘致 地域団体との連携も模索
8	地域連携	地域課題への対応 住民参加とケア 地域主体への移行	・地区の清掃や草刈 能登には花があう ・小木駅バージョン ・花のオアシスとの連携 区長会介し地域力up ・つくモル景観維持	主役は地元 災害対応ははじめ培ったノウハウ伝授役に徹す	能登町	能登町小木地区 (有事は奥能登)	小木区長会 市之瀬住民 能登町ふれあい公社	春と秋	いつまでもしてもらう事からの脱却 住民参加による地域力向上と実施後の喜びの共有	今年も率先垂範 小木区長会24名との情報共有やこれまで関わった小木地区の方々の巻き込み
9	シンボル創り	地域課題の克服 雇用の創出 次世代の人材育成	・地元食材・人材用い食を通じたコミュニティの場を創造 ・昨夏浸水した宇出津で明かりを灯す等目指し塩おにぎり試作重ね来春の開店の準備	運営開始時は主導するも軌道に乗せてから地元移行も視野に	能登町	通勤途中の従事者 (作業員・会社員)	七味ラーメン (備いわずみ丸福商店)	4月より(月～金)	あかりを灯す事による復興への後押し 食材の宝庫・能登の再確認	雇用の創出 マニュアル化での飲食業への垣根の引下げ 暖簾分けによる次世代の人材育成